

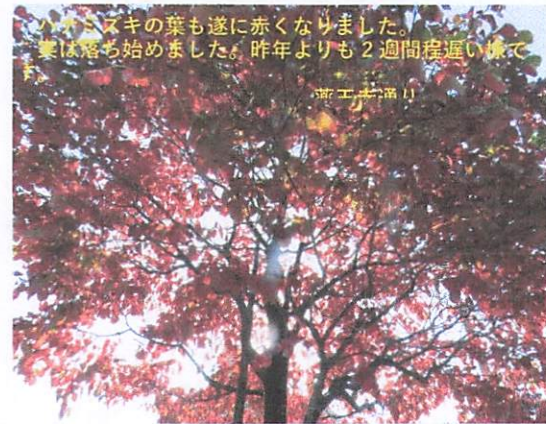
2023—11—25

会長 吉田昌彦

木々は色づき、今年最後の華やかに、8日の**立冬**から暦の上ではもう冬、冬の気配が徐々に増し、温かいものが恋しくなる季節、空気が乾燥してくるので、手洗いやうがい、マスクの予防を!学童や幼いお子様がインフルエンザの流行により学級閉鎖や学年閉鎖が発生している。昔から「**風邪は万病の元**」と言う諺があるように、しっかりとした予防に、**ウガイ**、**手洗い**は、実行して行くことが望ましい。



世情を見ると、至る所で争いが起こっている。つみもない、女子、子どもが犠牲になっている。前回の会報でもお伝えしましたが、何がこの様な争いを引き起こさなくてはならないのか!私達も決して他人事としてとらえない事だ。夏が過ぎ市場では季節ものの野菜、魚類が不足している。出来ることから体力を補う食材を採り、健康を保持していきましょう。



日老連も年内最後となるイベントを盛大に挙行了しました。また、北部地区でも数々の行事を行い、私達四ツ谷永寿会も積極的に参加しました。明るく、楽しくサークル活動が実行された成果を報告します。ぜひ、会員の皆様も、輪の中に入ってきて下さい。今回は新たに**3名**の会員が増え、サークル活動も活気が、明るさが増えています。

1、令和6年度優先使用について

☆1-1 令和6年度の農園、公園等の中請について

来年度も使用されるクラブは、申請書等の書類を提出されたい。四ツ谷永寿会は、グランドゴルフ部とゲートボール部が公園使用で申請します。しかし、畑作(宮公園)の貸し出しは、地主の意向で今年度限りとなりました。

☆1-2 去る10月28日の長寿の祝が盛大に開催される

今年は、**米寿**、**傘寿**でお祝い者が**7名**となり、祝宴の部では、舞踊部の方の舞、イベントでは、ウクレレ演奏やけん玉ショー等又、恒例のビンゴゲームで盛り上がりました。

当日参加出来ませんでした会員の皆さん来年度は参加して、交流を図りましょう。

2、北部地区主催の活動について

☆2-1 第8回ボーリング大会について

去る、5年11月17日(金) SAP日野ボウリング場にて、第8回ボウリング大会が行われ、四ツ谷永寿会の**石川良子**さんが23名参加者の上位。

大変おめでとうございました。

☆2-3 北部地区第7回カラオケ大会について

来る、5年12月8日(金)市民会館小ホールにて、第7回カラオケ大会が開催されます。四ツ谷永7寿会からも日頃ののど自慢をご披露者多数 開場: **9時30分**~現地に出向き声掛けし応援して下さい。お待ちしております。

3、サークル紹介について

☆防犯パトロール隊

いつもの所に集合し、いつものメンバーで行動する。当たり前のことであるが、私たちのメンバーの目的は、学童の帰宅の見回りと、昼間帯に留守がちな、住宅の監視が主です。諸先輩たちの築かれてきた長い伝統を守り、継続させなくてはなりません。パトロール途中家々の花や、木々の変化にも興味があり、柿やみかん等の生り物や皇帝ダリヤの美しさ等格別の楽しさです。又、清流の日野という事の実感で、水路や多摩川の自然にも心打たれる順路です。



パトロール隊は、1班5名づつ行っています。2班編成で週1回づつ行います。巡回途中の“いっぶく”も暑い夏は涼気を吸い、体のいやしにもなる、日野宮神社境内です。今後も、地域を守り、子供たちの安全、安心を手助け出来るパトロールを遂行していく決意です。

出発地;四ツ谷地区センター(14時頃)⇒途中休憩⇒帰着;四ツ谷地区センター

時間;午後2時~3時30分ごろ 隊員数;11名

※年に一度反省会を兼ね懇親会を行っています。

防犯パトロール隊

吉田昌彦 記

4、“鰻の放談”

4-1 ♪特攻キーボード作戦♪(音楽“3”以上だった者読むべからず!) No.36

*さっさとグランドピアノ?…好之者不如楽之者だよねー“毎日がフィナーレ”

(Kカッパ)モスクワを陥落させた英雄(中中)

前回の補足です。マスケット銃の発砲までの操作・動きは以下のとおりです。引き金を引いてから弾丸が出るまで少し遅れるようです。

- ① 銃口から、装薬を先に、次に弾丸を詰める(火縄銃と同じ)。
- ② 銃の右側に取り付けられたコック(撃鉄)を少し起こして、ハーフコック・ポジションにする。一種の安全装置でありハーフコック・ポジションでは引き金を引けない。
- ③ この状態でフリズン(当たり金)を開け、火皿に点火薬(伝火用の火薬)を入れ、次にフリズンを閉じる(火皿に点火薬を入れるのは火縄銃と同じ)。
- ④ 撃鉄をさらに起こしてコック・ポジションにする。これで発砲準備は完了。
- ⑤ 引き金を引く。
- ⑥ フリント(火打石)を取り付けた撃鉄が作動して、フリントがフリズンの当たり金(浸炭して炭素量大)とこすれ火花を発生する。同時にその衝撃でフリズンが開く。
- ⑦ 火花によって火皿の点火薬に伝火され、さらに銃身に開けられた火門(touch hole)を通して銃身内の装薬が燃焼する(火縄銃と同じ)。
- ⑧ 弾丸が発射される。

マスケット銃は、火打ち石の摩耗や、湿った火薬、装填の不手際などによってかなり割合で不発が起こった。一般に晴れた日の乾いた状態で15%、湿っていると30%もの高い確率で不発が起こったようです。槍で騎兵が突撃した方が遙かに戦況有利でした。

さて、『三銃士』(Les Trois Mousquetaires)と言う、19世紀フランスの小説家、アレクサンドル・デュマ・ペール(Alexandre Dumas 1802年7月24日-1870年12月5日)による有名な冒険活劇小説がありました。1844年にフランスの日刊紙『シエクル』(Le Siècle)で連載され、同年、単行本が出版。1846年から挿絵が追加された。銃士(ムスケテル、Mousquetaire)とは、まさしく近代初期に存在したマスケット銃で武装した歩兵(仏においては騎兵も兼ねる)なのです。ヨーロッパの近代的な軍隊では特に重要な役割を果たしました。日本では『三銃士』のみが有名ですが、範囲は、第1部である1巻“友を選ばば”と2巻“妖婦ミレディの秘密”に過ぎず、全体の分量からも4分の1以下である。続編に第2部『二十年後』と第3部『ブラジュロンヌ子爵』がある。3部作をまとめて『ダルタニャン物語』と呼びます。日本では、児童文学用に第一部の抜粋版が広く普及していて、エロい部分や残酷な部分は避けられている。本気で全部読もうとすると全11巻(¥30,250:鈴木力衛 訳)株式会社復刊ドットコム(旧名:株式会社ブックング)買って、積ん読書になりそうです…。(日野市立図書館にもない)あらずは以下の通りです。

時はルイ13世(1601年9月27日-1643年5月14日)の治世。丁度前装滑腔・フリントロック式マスケット銃が

出始めた頃です。仏西部スペイン国境に近い大西洋岸のガスコーニュ出身の田舎貴族ダルタニャンは、銃士になることを夢見てパリに出てくる。ところがパリへの道中で謎の騎士に紹介状を盗まれてしまい、何とか近衛銃士隊長トレヴィルへの謁見を成功させたものの、またも謎の騎士のせいでトレヴィルの好意を無下にしてしまった。挙句、成り行きで銃士隊でも三銃士として名を馳せるアトス・ポルトス・アラミスと決闘をする羽目になる。キャラは、アトス;大酒のみで博打に溺れていたが誠実な人柄、ポルトス;豪放磊落で怪力、弁慶の様な派手好きで見栄っ張りアラミス;聖職者希望女好き剣と銃の腕は抜群

ダルタニャンは意を決して三銃士との決闘に赴いたが、アトスとの決闘を始めた途端に枢機卿・リシュリユの護衛士が現れる。過去の因縁から決闘は中断となり、三銃士と護衛士の戦いとなる。ダルタニャンは三銃士の仲間として護衛士と戦う事を選び、枢機卿派きつての剣客ジュサククを下して三銃士側を勝利させる。この事件でダルタニャンは三銃士の仲間入りを果たした上に、トレヴィルや国王からも一目置かれる存在となる。そして王妃の危機を救ったり、ラ・ロシュル包圍戦参加で大活躍。後半は、リシュリユの腹心の悪妖女ミレディとの確執が見どころです。

倉岡 裕 記

5、会員の異動報告 2023年11月16日現在

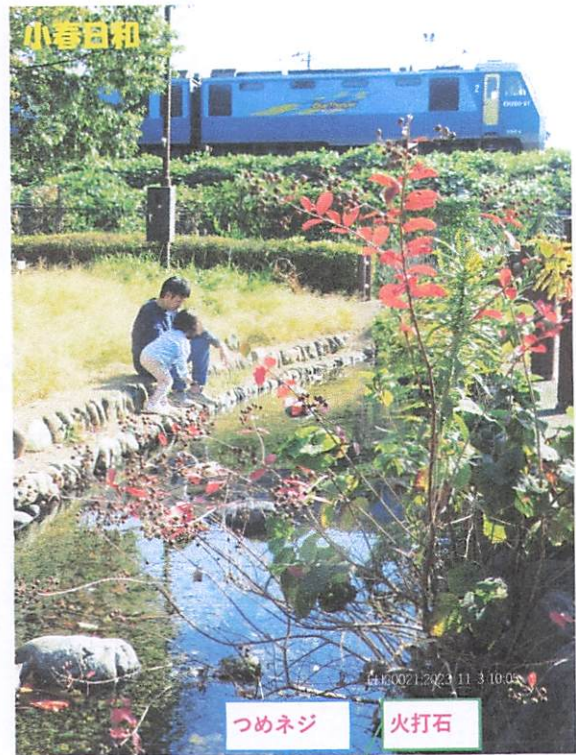
クラブ	組	氏名	性別	生年月日	年齢	住所	記事
麻雀	9	安部和子	女	1947.1.2	76	日野市日野1478-2	2023.11.1 入会
吹矢	5	波多野良子	女	1937.5.6	86	日野市栄町5-13-23	2023.11.1 入会
吹矢	5	片桐静子	女	1944.12.1	78	日野市栄町3-8-55	2023.11.1 入会



薬王寺通り

6、次回の役員会

令和5年12月23日(土) 9:30~



ロック部拡大



四ツ谷道橋通り



ダルタニャン物語

友を選ばば三銃士
A・デュマ(著) 鈴木力衛(訳)



セイタカアワダチソウ
萼って花粉は一切飛ばしません!
せん! フタクサと間違えないでね!